



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6924 URL <https://www.iwasaki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 庄 慎司 TEL 03-5846-9010  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,321	△12.4	△426	—	△372	—	△307	—
2020年3月期第1四半期	10,646	11.9	△218	—	△209	—	△172	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △211百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 35百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△40.50	—
2020年3月期第1四半期	△22.33	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	64,749	28,447	43.9	3,749.94
2020年3月期	69,450	28,999	41.7	3,809.58

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,433百万円 2020年3月期 28,982百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想につきましては、本日(2020年8月3日)公表しました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	△12.3	1,200	△67.2	1,300	△66.5	700	△73.9	92.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

業績予想につきましては、本日(2020年8月3日)公表しました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）株式会社つくばイワサキ  
（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,821,950株	2020年3月期	7,821,950株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	239,494株	2020年3月期	214,141株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,588,853株	2020年3月期1Q	7,734,125株

（注）株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	8
地域別売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、企業活動の停滞、設備投資の抑制、個人消費の落ち込みなど、各地域において極めて厳しい状況となりました。わが国経済においても、緊急事態宣言の発令により様々な経済活動が制限され、また、緊急事態宣言解除後においても、経済活動の再開が段階的に進んでいる兆しはあるものの、足元では感染者数の増加が見られるなど、景気回復に向けては一進一退の状態が続いており、先行きは依然として不透明な状況となりました。

このような環境の中、当社グループは「光テクノロジーを通して豊かな社会と環境を創造する」という企業理念のもと、照明事業と光・環境事業において、これまで培ってきた光技術と関連技術の融合を図り、独自性のある商品提供と、周辺事業を含めたトータルソリューションビジネスの展開を推進しております。しかしながら、当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業活動全体が制限を受け、当社グループにおいては在宅勤務や時差出勤などを実施し、生産性の維持、向上に取り組みましたが、対面による営業活動の自粛などもあり、厳しい状況となりました。

これらの結果、売上高は9,321百万円（前年同期は10,646百万円で12.4%の減少）、営業損失は426百万円（前年同期は218百万円で208百万円の悪化）、経常損失は372百万円（前年同期は209百万円で163百万円の悪化）、親会社株主に帰属する四半期純損失は307百万円（前年同期は172百万円で134百万円の悪化）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <照明>

照明事業は、国内では、LED道路灯、LEDトンネル器具などの売上高は、リニューアル需要に対応したことなどにより堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で企業活動の停滞が続く中、LED高天井器具などの売上高は、工場施設や商業施設における設備投資の抑制の影響を受け、減少となりました。海外では、北米は堅調に推移したものの、アジア地域では伸び悩みました。

これらの結果、売上高は7,088百万円（前年同期は8,150百万円で13.0%の減少）、セグメント利益は301百万円（前年同期は366百万円で17.6%の減少）となりました。

#### <光・環境>

光・環境事業は、殺菌関連分野において、衛生環境の改善や感染症の拡大防止に貢献するべく、紫外線殺菌の技術を応用した新商品をリリースしました。一方、UVキュア分野、環境試験装置分野では、総じて設備投資が先送りされたことなどにより、売上高は低調に推移しました。なお、情報機器事業では、道路情報板関連で前年同期以上の件名納入があり、売上高が増加しました。

これらの結果、売上高は2,242百万円（前年同期は2,512百万円で10.7%の減少）、セグメント損失は286百万円（前年同期は90百万円で195百万円の悪化）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている2021年3月期の業績予想ならびに将来予測に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見通しをはじめ、国内および諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、現時点における通期の業績予想につきましては、本日（2020年8月3日）公表しました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,261	15,809
受取手形及び売掛金	14,433	8,308
電子記録債権	2,837	2,762
商品及び製品	6,989	8,382
仕掛品	1,593	1,751
原材料及び貯蔵品	4,729	5,036
その他	611	673
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	47,423	42,691
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,337	9,337
その他(純額)	7,127	6,973
有形固定資産合計	16,465	16,310
無形固定資産	713	628
投資その他の資産	4,847	5,119
固定資産合計	22,026	22,057
資産合計	69,450	64,749
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,582	5,754
電子記録債務	5,870	5,159
短期借入金	830	800
1年内返済予定の長期借入金	900	900
未払法人税等	941	58
賞与引当金	794	204
クレーム処理引当金	178	172
その他	2,797	2,901
流動負債合計	19,894	15,951
固定負債		
長期借入金	4,400	4,250
退職給付に係る負債	13,200	13,123
資産除去債務	134	134
その他	2,820	2,842
固定負債合計	20,555	20,350
負債合計	40,450	36,301

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	2,069	2,069
利益剰余金	16,466	15,851
自己株式	△298	△330
株主資本合計	26,877	26,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	1,737
土地再評価差額金	2,410	2,410
為替換算調整勘定	△378	△526
退職給付に係る調整累計額	△1,472	△1,418
その他の包括利益累計額合計	2,104	2,202
非支配株主持分	17	14
純資産合計	28,999	28,447
負債純資産合計	69,450	64,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,646	9,321
売上原価	7,329	6,353
売上総利益	3,317	2,967
販売費及び一般管理費	3,535	3,394
営業損失(△)	△218	△426
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	45	53
保険配当金	24	23
その他	10	13
営業外収益合計	81	91
営業外費用		
支払利息	26	21
持分法による投資損失	13	9
為替差損	15	6
その他	16	0
営業外費用合計	71	37
経常損失(△)	△209	△372
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△207	△372
法人税等	△34	△63
四半期純損失(△)	△173	△309
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△172	△307

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△173	△309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	191
為替換算調整勘定	34	△81
退職給付に係る調整額	47	54
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△66
その他の包括利益合計	208	98
四半期包括利益	35	△211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36	△209
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△2



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった株式会社つくばイワサキは当社の特定子会社である株式会社アイ・ライティング・システムを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,144	2,501	10,646	—	10,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	10	16	△16	—
計	8,150	2,512	10,662	△16	10,646
セグメント利益又は損失(△)	366	△90	275	△493	△218

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△493百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等でありませす。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,083	2,237	9,321	—	9,321
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	4	10	△10	—
計	7,088	2,242	9,331	△10	9,321
セグメント利益又は損失(△)	301	△286	15	△441	△426

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△441百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等でありませす。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

地域別売上高

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
9,147	1,078	360	60	10,646

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
7,929	1,020	318	52	9,321

以上